個人投資家向け会社説明会

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

（東証1部、札証証券コード:8377）

平成28年7月

1. 当社グループご紹介

2. 28年3月期　決算概要

3. 各種取り組み

4. 中期経営計画・29年3月期業績予想

5. 株価推移・株主還元

6. 参考資料

プロフィール　（平成２８年３月末現在）

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

設立　　：平成15年
本店所在地　：富山市
資本金　　：708億円
自己資本比率：10.30%
格付　　：A（R&I）

地方銀行　総資産ランキング

	総資産	（単位：億円）
1位	ふくおかＦＧ	164,061
2位	横浜銀行(※)	152,689
3位	千葉銀行	133,338
4位	**ほくほくFG**	**116,303**
5位	静岡銀行	111,172

※各行決算短信より当社作成（連結ベース）
※28年4月よりコンコルディアFG

北陸銀行



設立：昭和18年
（創業明治10年）
本店所在地：富山市
店舗数　　：国内188(支店145・出張所43)
　　海外6
従業員数　：2,798人
資本金　　：1,404億円
自己資本比率：9.78%
格付　　：A（R&I）・A-（S&P）

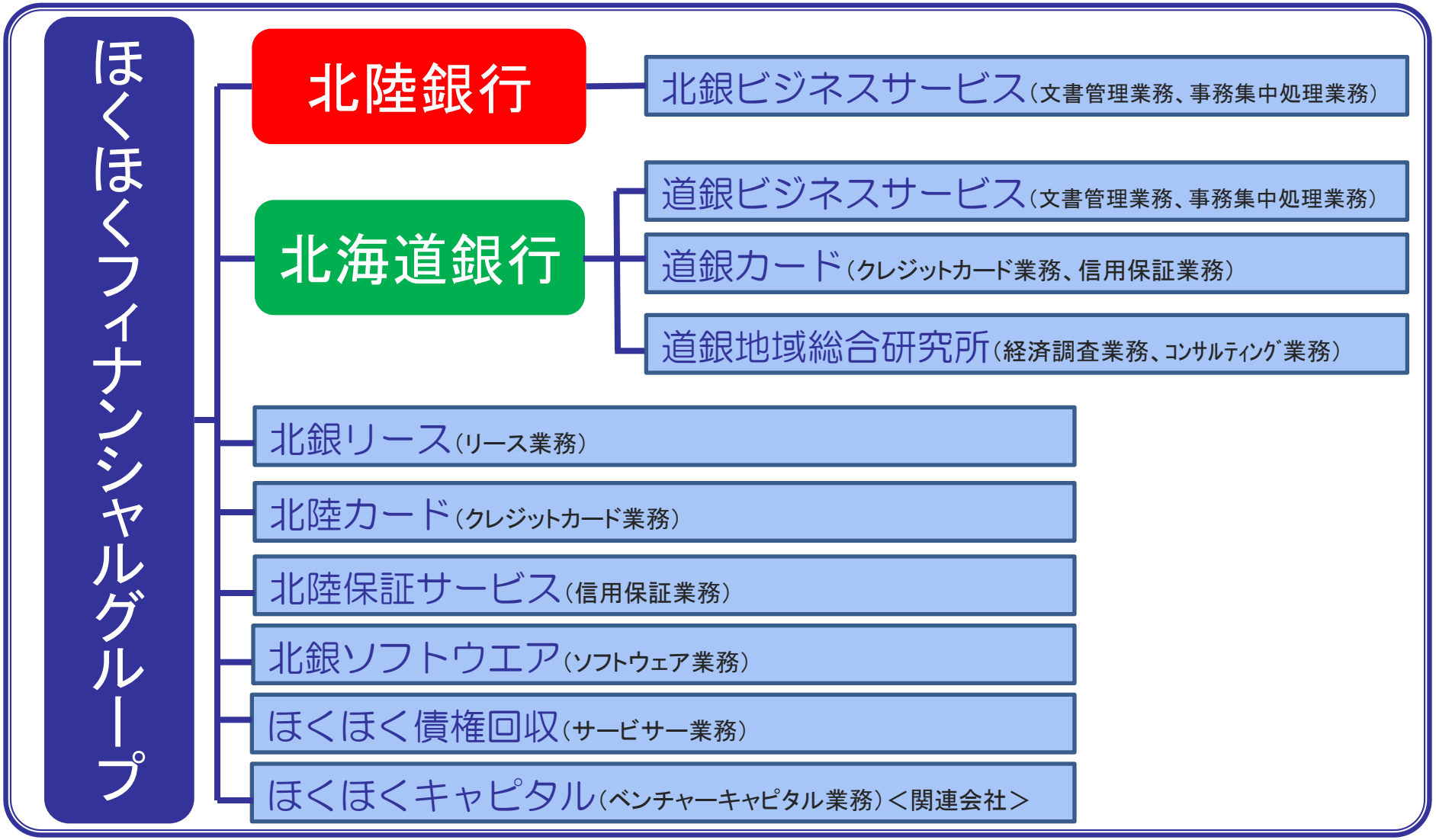
北海道銀行



設立：昭和26年
本店所在地：札幌市
店舗数　　：国内141(本支店135、出張所6)
　　海外3
従業員数　：2,226人
資本金　　：935億円
自己資本比率：10.23%
格付　　：A（R&I）・A（JCR）

グループ会社

- 連結子会社１１社および関連会社１社の総合金融グループ
- 銀行業務を中心にリース業務、クレジットカード業務、信用保証業務などの幅広い金融サービスをご提供



ほくほくＦＧの歩み

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

北陸地区

明治10年(1877年)
金沢第十二国立銀行(北陸銀行創業)　石川県

明治11年(1878年)
武生第五十七国立銀行(現武生支店)　福井県

明治12年(1879年)
富山第百二十三国立銀行　富山県

合併と統合の歴史

昭和18年(1943年)
北陸銀行　設立

北陸銀行

北海道地区

明治時代から活発な交流があり、北海道には北陸からの移住者も多い。

(北前船)



明治32年(1899年)
小樽支店　開店　北海道

昭和26年(1951年)
北海道銀行　設立

北海道銀行

平成16年(2004年)
ほくほくFG

平成21年(2009年)　公的資金完済

平成23年(2011年)　基幹システム共同化

平成28年(2016年)　基幹システムに「七十七銀行」が加入(4行体制に)

明治

大正

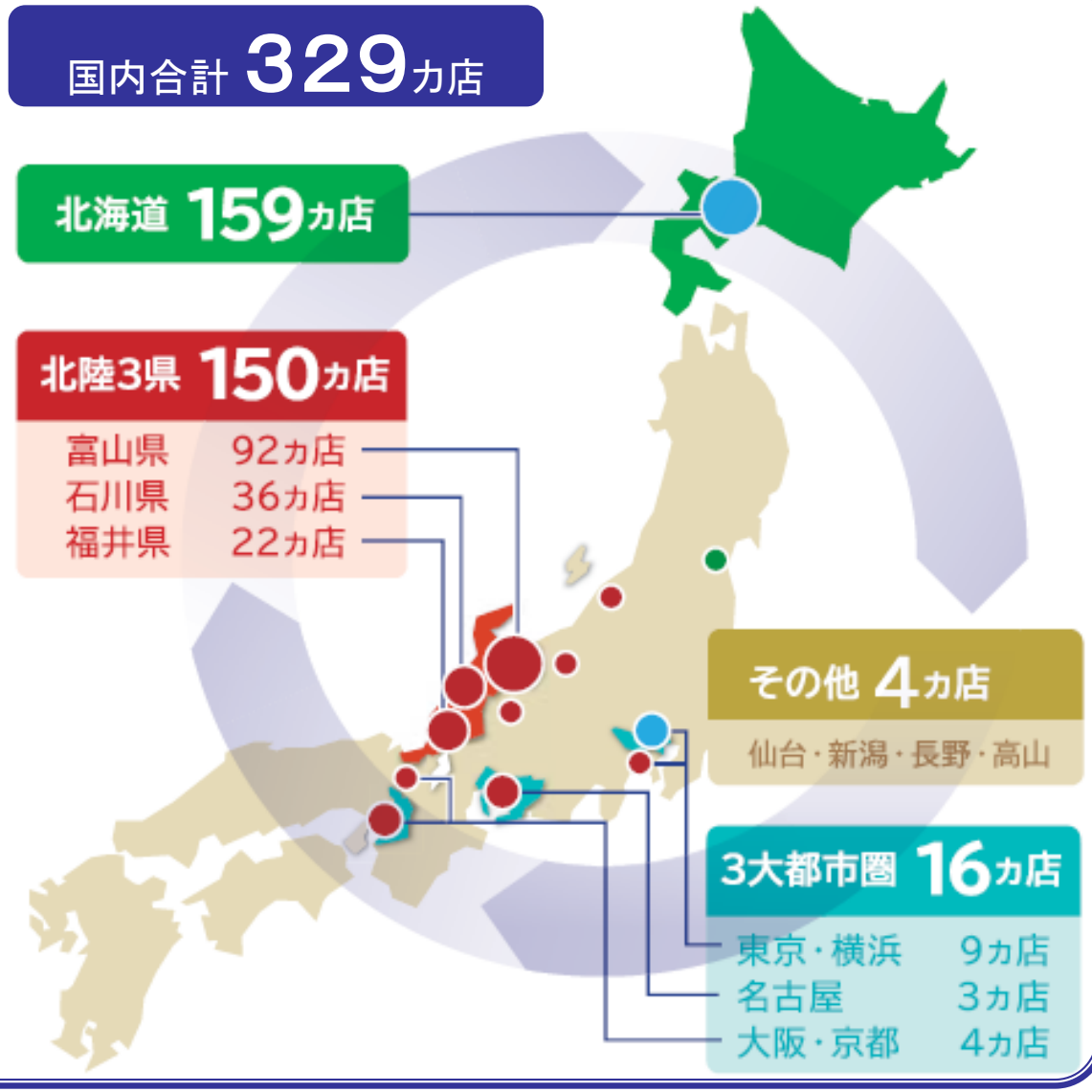
昭和

平成

国内営業店・ＡＴＭネットワーク （平成２８年３月末現在）

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

国内営業店ネットワーク



【営業店配置都道府県】
＜北陸地区＞
富山県・石川県・福井県
＜北海道地区＞
北海道
＜3大都市圏＞
東京都・神奈川県
大阪府・京都府・愛知県
＜その他地区＞
岐阜県・長野県・新潟県
宮城県
合計：13都道府県

【自動機（ATM）】
ATM設置箇所
825ヶ所
利用可能コンビニATM
約47,000台

海外ネットワーク

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

海外駐在員事務所



❶ニューヨーク駐在員事務所
❷ロンドン駐在員事務所
❸バンコク駐在員事務所
❹シンガポール駐在員事務所
❺上海駐在員事務所
❻大連駐在員事務所
❼瀋陽駐在員事務所
❽ウラジオストク駐在員事務所
❾ユジノサハリンスク駐在員事務所

【海外提携機関】

＜行政機関：26機関＞

- ほくほくFG
  上海市商務委員会、遼寧省対外貿易経済合作庁　他
- 北陸銀行
  大連市対外貿易経済合作局、ベトナム計画投資省、タイ投資委員会、インドネシア投資調達庁　他
- 北海道銀行
  瀋陽市、ハバロフスク市、ユジノサハリンスク市

＜外国銀行等：28機関＞

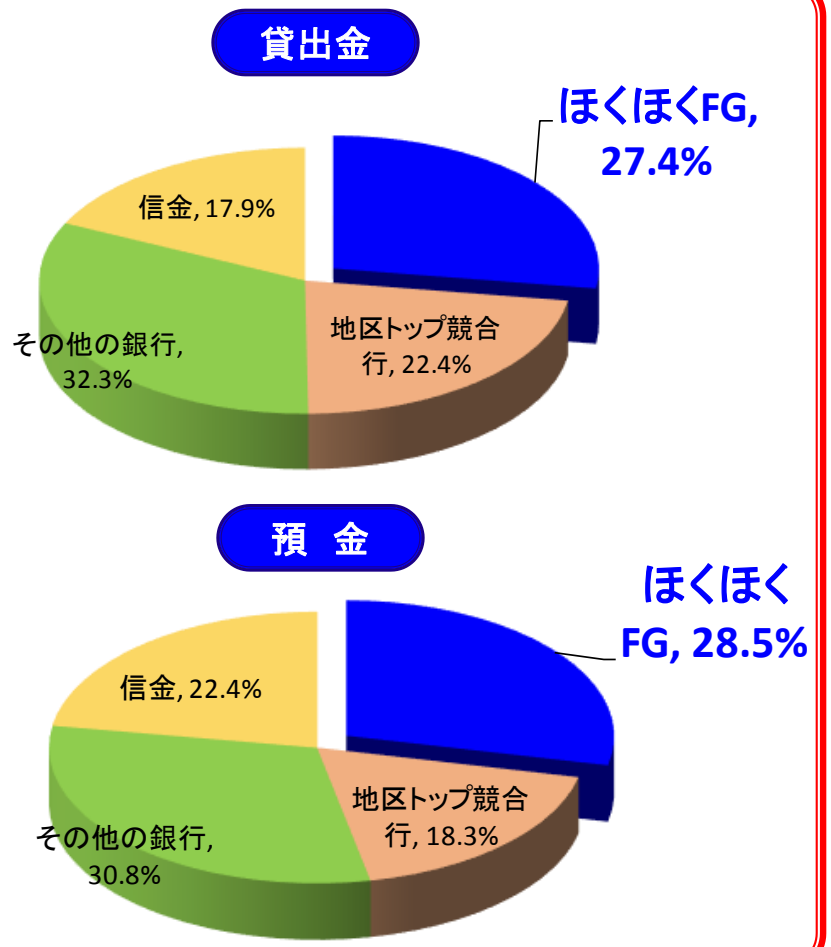
- 北陸銀行・北海道銀行
  中国・交通銀行、タイ・カシコン銀行、ベトナム銀行　他
- 北陸銀行
  中国銀行、上海銀行、インドステイト銀行、ドイツ銀行、　他
- 北海道銀行
  台湾FISC社、ズベルバンク、VTB銀行　他

地域シェア　平成28年3月末

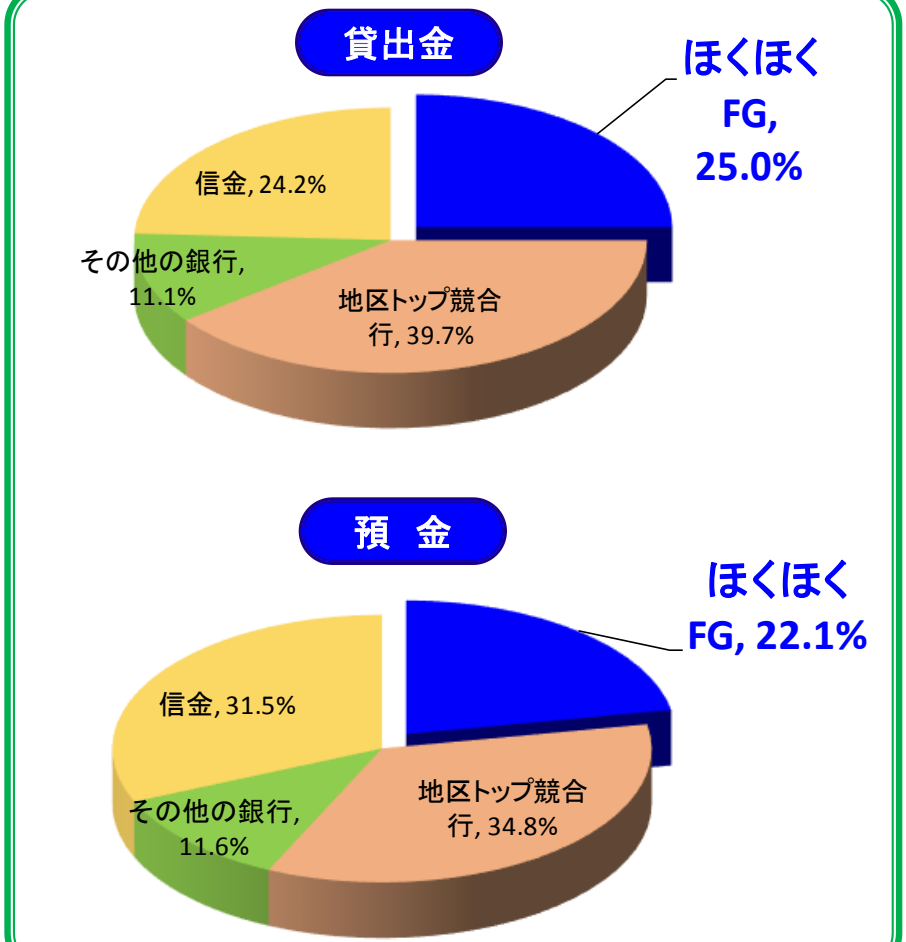
ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

➢ 北陸3県で預金・貸出金ともにトップ、北海道で第2位のシェア

北陸地区



北海道地区



※　日本銀行「都道府県別預金・現金・貸出金」、北海道財務局「北海道金融月報」、信金中金 地域・中小企業研究所「信金中金月報」、ニッキン資料より当社にて作成

北陸・北海道地区の特徴と状況

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

北陸

新幹線効果は２年目も続く

自然、歴史的文化遺産、温泉郷など「質・量」ともに豊富な観光資源がある。**新幹線開業後は旅行客が大幅に増加。開業2年目のゴールデンウィークも新幹線効果は続いた。**

〇富山：立山黒部アルペンルート、五箇山合掌造り、国宝「瑞龍寺」
〇石川：日本三名園「兼六園」、「21世紀美術館」、加賀温泉
〇福井：福井県立恐竜博物館　等

製造業の割合が高い

化学や機械関連工業、伝統工芸が盛ん

〇富山（化学工業、金属製品）
・全国有数の薬産地として、医薬品の地場中堅企業や大手メーカーの工場が多く存在している。
・大手アルミ建材メーカーのほか、関連下請企業も多数集積しており、生産額全国一。

〇石川（建設機械・伝統工芸）
・世界有数の建設機械企業やコンピューター用ディスプレイ製造企業等が多く存在している。
・伝統工芸が盛んで、金沢箔は金箔の国内シェアの98%を占め、また、輪島塗は国が指定する漆器の中で生産量が最大である。

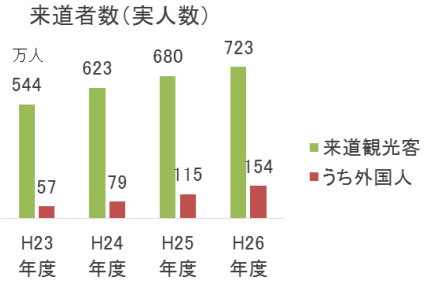
北海道

北海道新幹線が開業！観光客増加に期待

・3月26日に東京ー新函館北斗駅間が開業
〇開業1ヵ月間の利用（新青森―新函館北斗間）は前年の2倍と順調に推移。ゴールデンウィーク中の利用実績は前年比17%増となった。



・外国人観光客が増加中
〇従来の台湾や中国からに加え、最近時はタイ等の東南アジアからの観光客が増加中。特に「ニセコ」には世界一といわれる雪質を求め世界中からスキーヤーが集まっています。



農業産出額全国１位

・北海道の**農林水産業は、日本国内で供給されている農水産物供給量の約2割**（熱量ベース）**を占め**ており、食料の安定供給に貢献。乳用牛や野菜、米等を中心に**農業産出額過去5年連続全国1位**、産出額も　年々増加している。
・農産物および水産物等のバリューチェーンを強化するため、産学官金のオール北海道体制で食の付加価値向上や関連産業の振興に取り組み、「**食の総合産業化**」を目指している。

※　日本銀行金沢支店、北海道庁、JR北海道ホームページより

1. 当社グループご紹介

2. 28年3月期　決算概要

3. 各種取り組み

4. 中期経営計画・29年3月期業績予想

5. 株価推移・株主還元

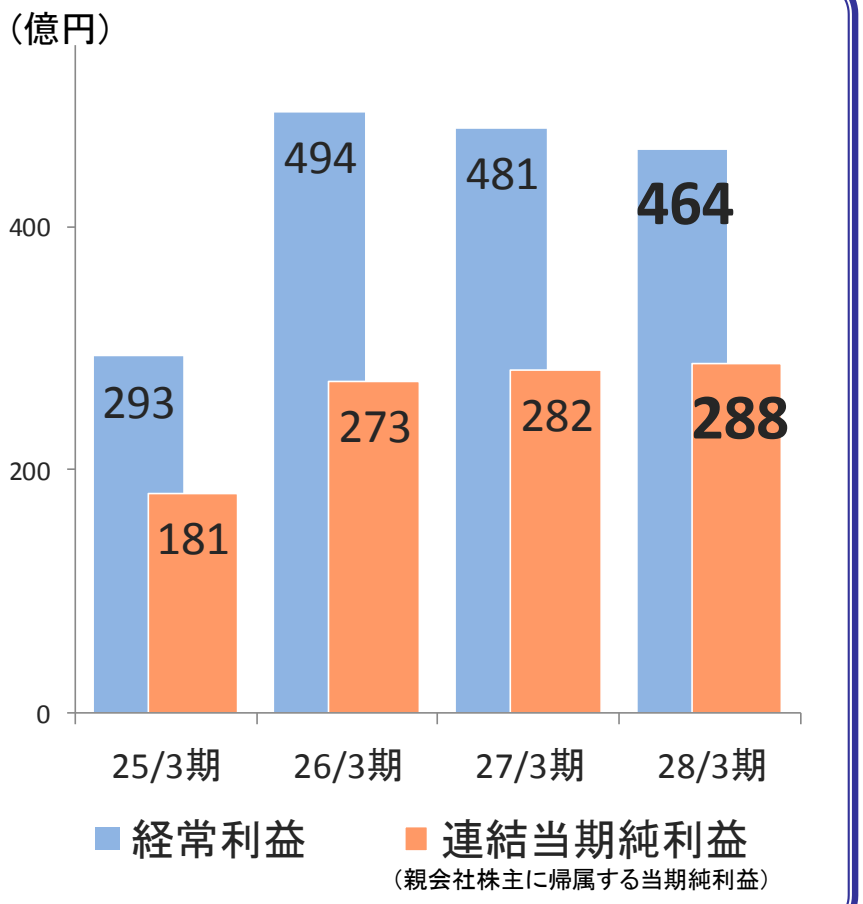
6. 参考資料

損　益

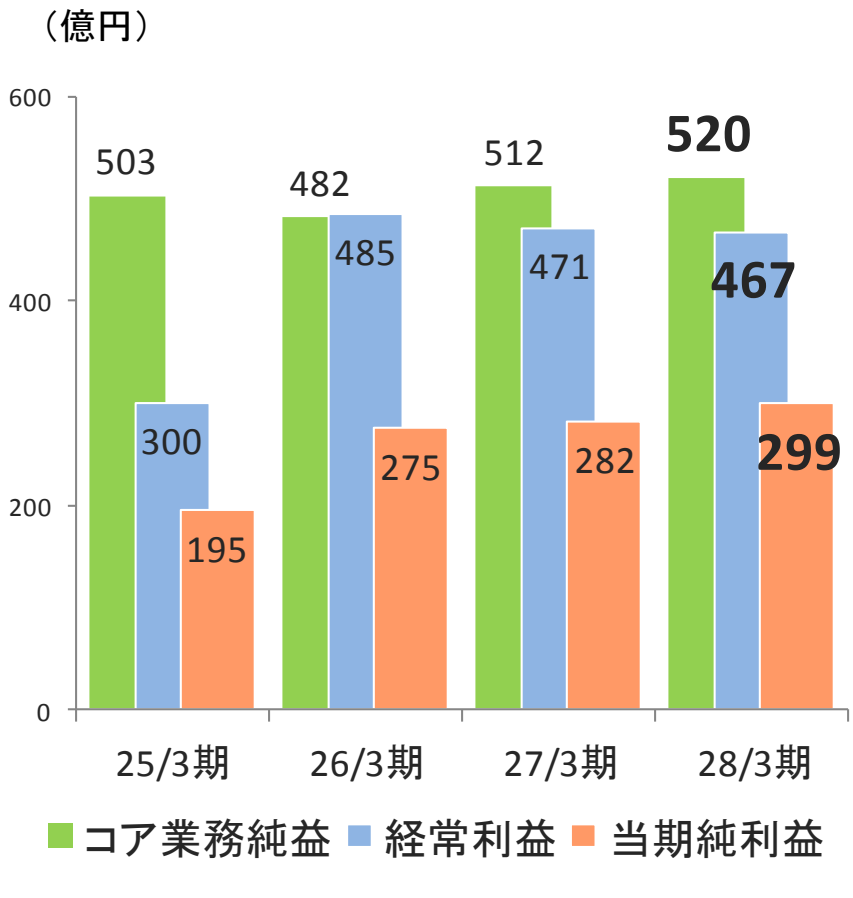
ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

- 連結当期純利益(親会社株主に帰属する当期純利益)は、２８８億円、前期比＋６億円
- 北陸銀行・北海道銀行２行合算のコア業務純益は、５２０億円、前期比＋８億円

損益＜フィナンシャルグループ連結＞



損益＜北陸銀行・北海道銀行2行合算＞

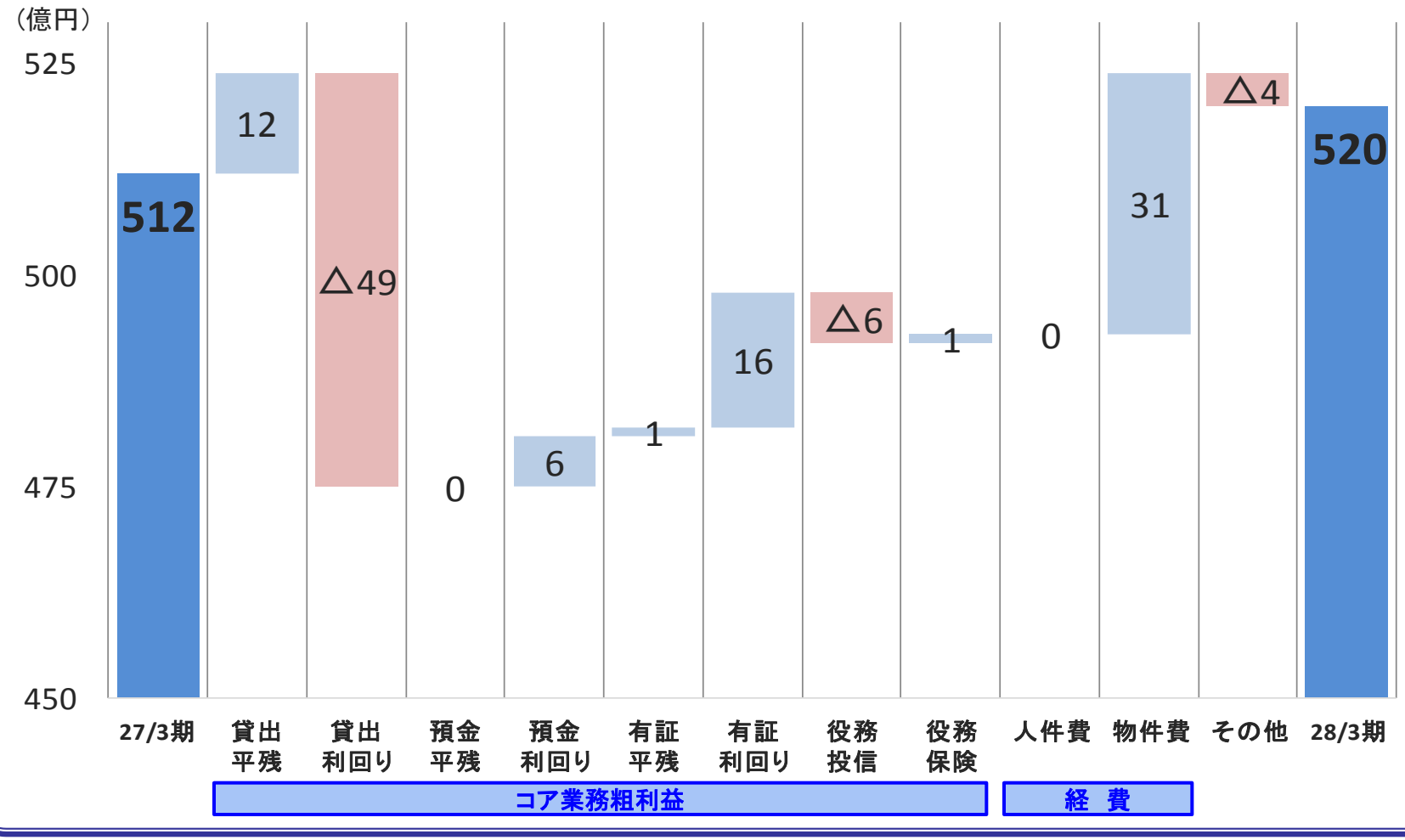


コア業務純益増減要因

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

- コア業務純益は、利回りの低下により貸出金利息が引続きの減少となったが、有価証券での運用強化や物件費の減少他の要因により、前期比8億円増加

コア業務純益　増減要因＜北陸銀行・北海道銀行2行合算＞

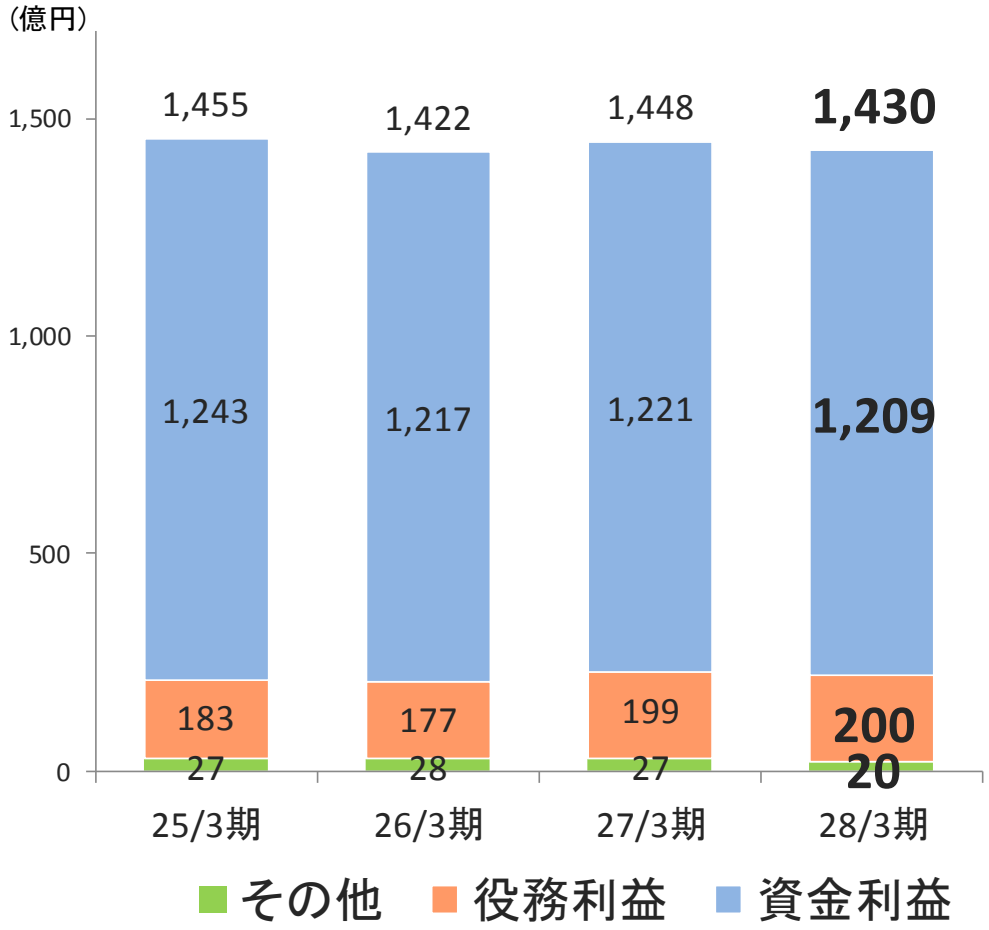


コア業務粗利益

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

- 資金利益は、1,209億円、前期比△11億円
- 役務利益は、200億円、前期比＋0億円

コア業務粗利益＜北陸銀行・北海道銀行2行合算＞



【増減要因】

・**資金利益**
～貸出金利息の減少
有価証券利息配当金の増加

・**役務利益**
～投資信託販売手数料の減少
役務費用の減少

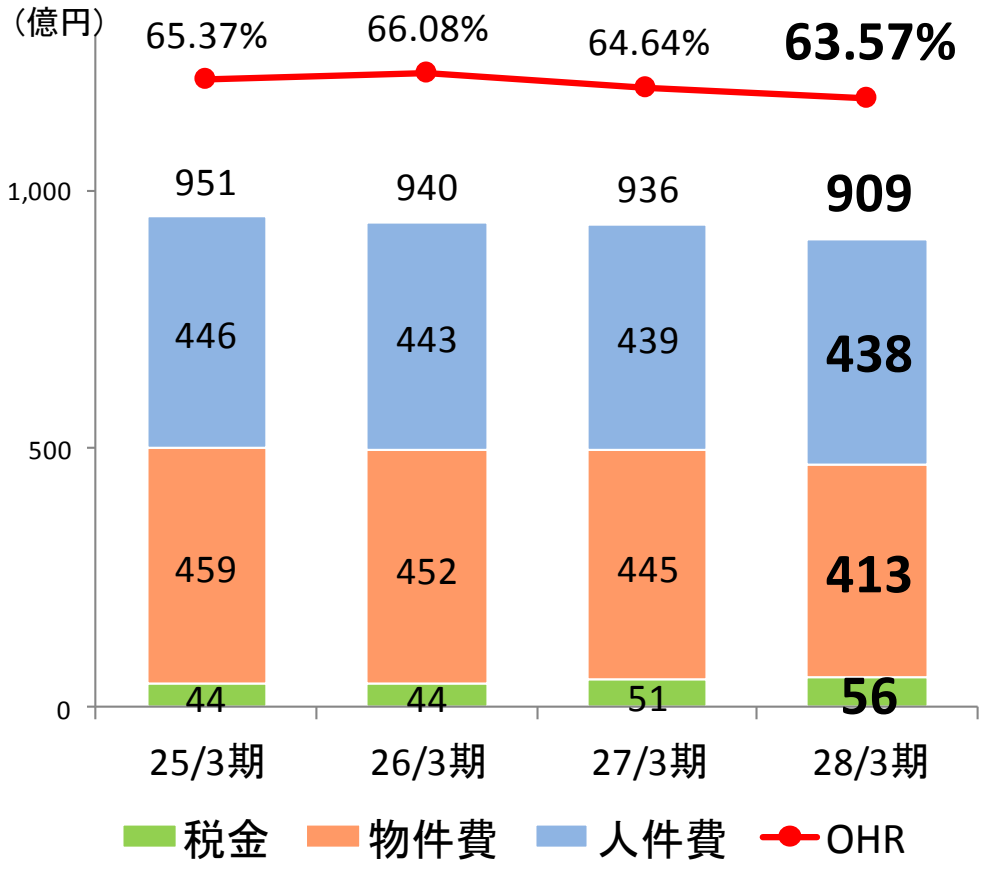
・**その他利益**
～外国為替売買損益の減少

経　費

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

- 経費は、物件費他の減少により前期比△26億円
- OHRは、経費の減少及び利益の増加により前期比1.07ポイント改善

経　費＜北陸銀行・北海道銀行2行合算＞



【増減要因】

・人件費　前年比△0億円
　～時間外手当の減少

・物件費　前年比△31億円
　～預金保険料の減少

・税金　前年比＋5億円

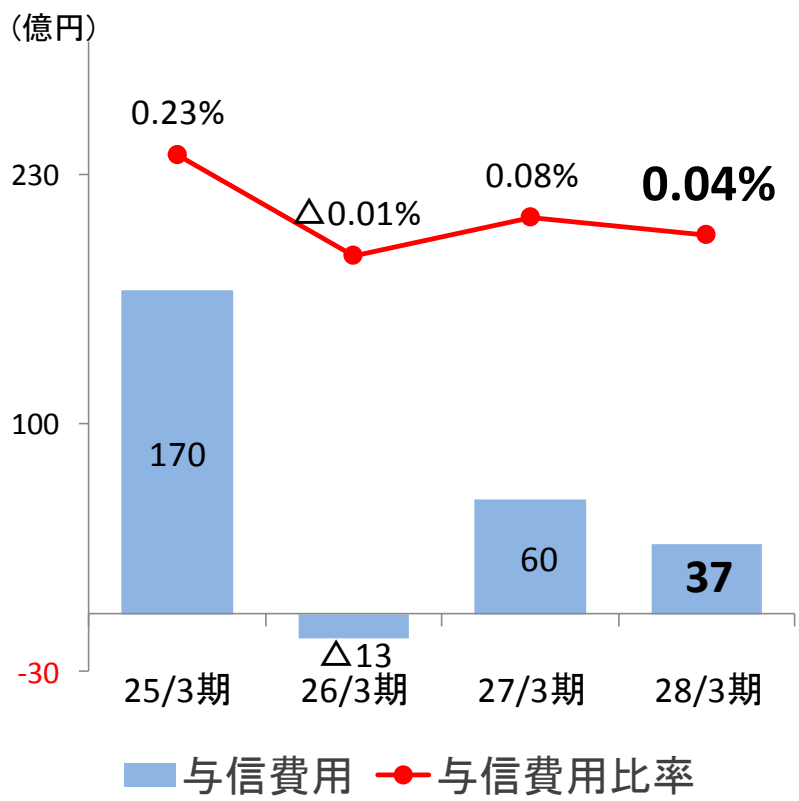
※OHR＝経費÷コア業務粗利益

与信費用・不良債権

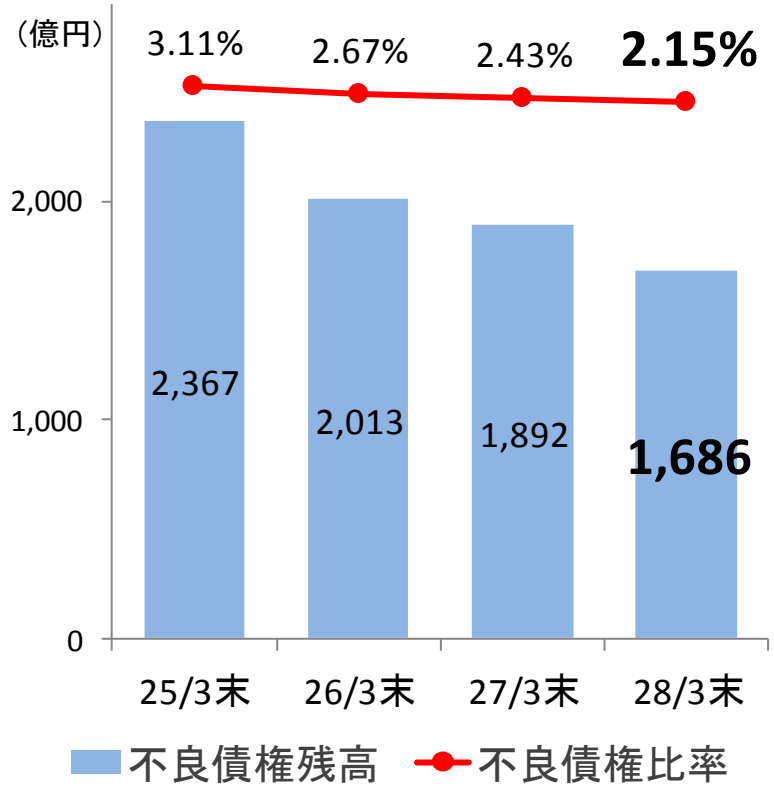
ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

- 与信費用37億円、与信費用比率0.04%、依然低水準
- 不良債権残高は前期末比△206億円、不良債権比率は0.28ポイント改善

与信費用・比率＜2行合算＞



不良債権残高・比率＜2行合算＞

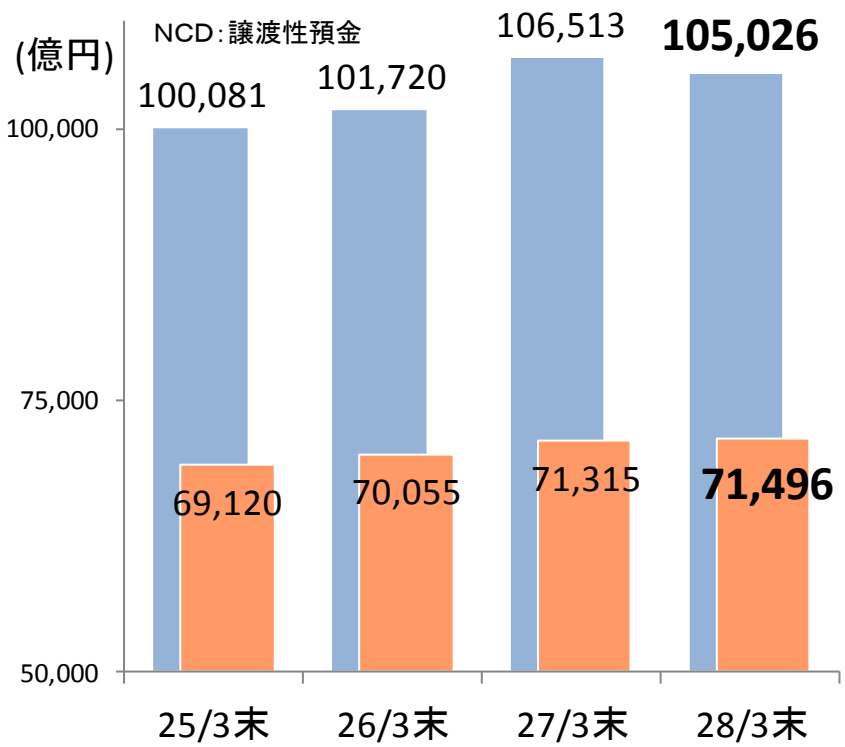


預金・貸出金

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

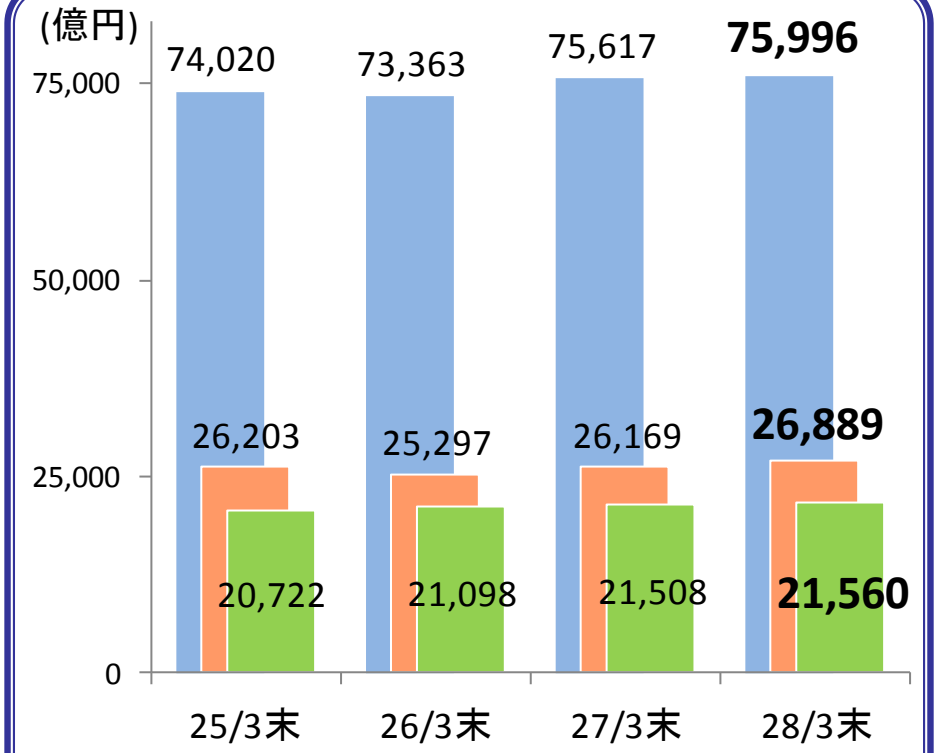
- 預金は、10兆5,026億円、前期末比△1,487億円、年間増減率△1.4%
- 貸出金は、7兆5,996億円、前期末比＋378億円、年間増減率＋0.5%

預金・NCD＜北陸銀行・北海道銀行2行合算＞



- 個人預金・法人預金とも増加したが、NCDが減少

貸出金＜北陸銀行・北海道銀行2行合算＞



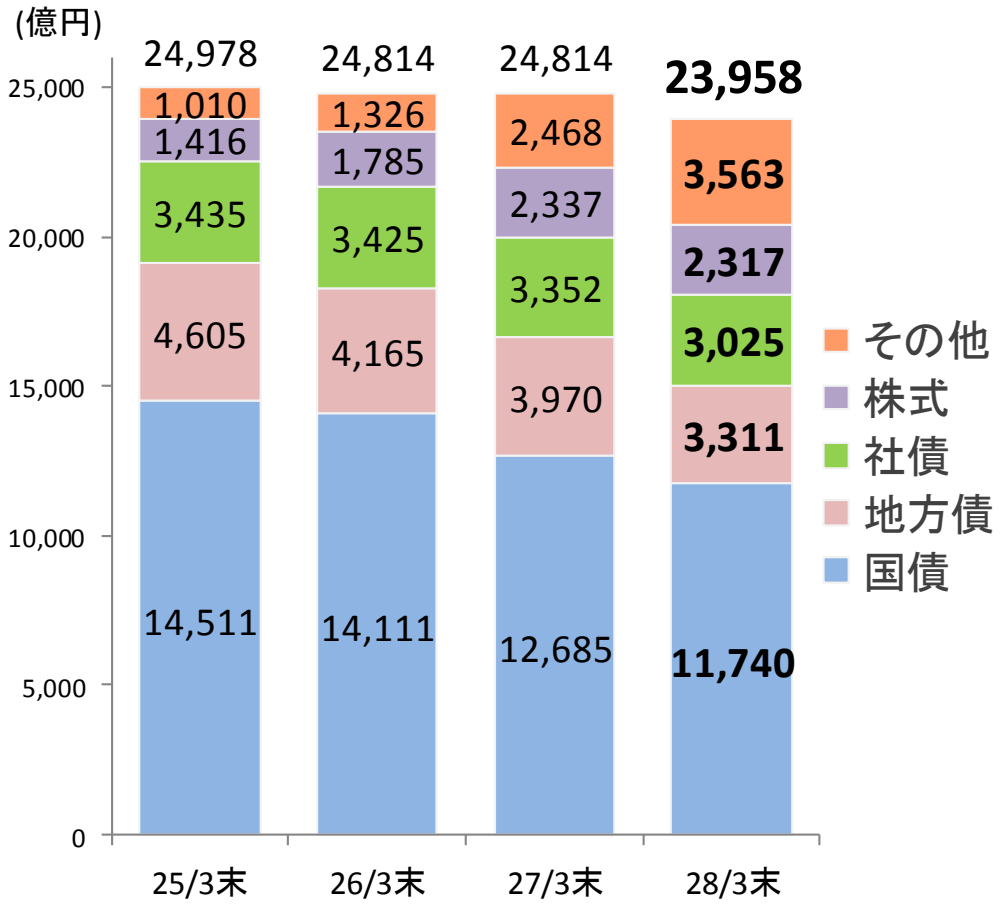
- 地方公共団体等向け貸出は減少したが、事業性貸出・個人ローンは堅調に増加

有価証券

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

- 有価証券は、2兆3,958億円、前期末比△855億円
- うち「国債」は前期末比△944億円、外国債券・投資信託を主とする「その他」は 前期末比＋1,095億円

有価証券＜北陸銀行･北海道銀行2行合算＞



【有価証券の評価損益】 （億円）

		28/3末	前期末比	27/3末
有価証券		1,166	△ 258	1,425
	株式	735	△ 216	952
	債券	398	23	375
	その他	32	△ 65	97

債券＝国債+地方債+社債

【国債･地方債】
低金利環境につき新規購入を抑制

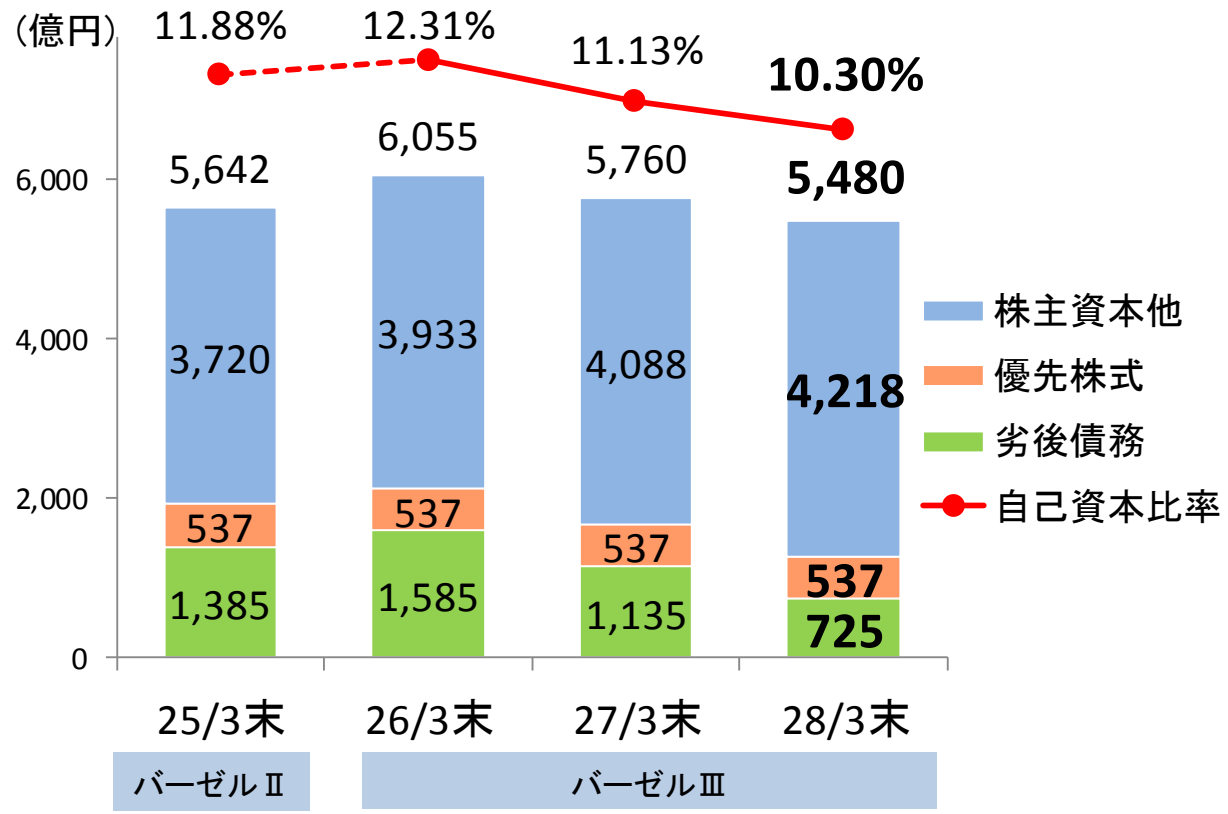
【株式･外国債券･投資信託】
マーケット情勢を勘案して、株式や外国債券での運用を強化

自己資本・自己資本比率

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

- 自己資本比率は、10.30%、前期末比△0.83%
- 利益による剰余金の積み上げを行った一方、劣後債務の返済により自己資本及び自己資本比率は前期末比減少（低下）

自己資本・自己資本比率＜フィナンシャルグループ連結＞



※25年3月期以前「バーゼルⅡ」、26年3月期以降「バーゼルⅢ」基準で自己資本を計算

北陸銀行・北海道銀行　業績

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

- 北陸銀行　：コア業務純益266億円、前期比＋6億円
- 北海道銀行：コア業務純益253億円、前期比＋2億円

北陸銀行･北海道銀行　銀行別損益

（億円）

	北陸銀行		北海道銀行	
	28/3期	前年比	28/3期	前年比
経常収益	933	△ 6	855	1
コア業務粗利益	753	△ 11	676	△ 6
経費(△)	486	△ 18	422	△ 8
コア業務純益	266	6	253	2
有価証券等関係損益	4	△ 32	△ 1	△ 33
与信費用(△)	△ 11	△ 28	48	5
経常利益	267	22	200	△ 26
当期純利益	165	18	134	△ 1

【主な増減要因】

	コア業務粗利益	経費	経常利益	当期純利益
北陸銀行	貸出金利息の減少、有価証券利息配当金の増加	預金保険料の減少、人件費の減少	国債等売買損益の減少、与信費用の減少	特別損益と法人税等の増加
北海道銀行	貸出金利息の減少、有価証券利息配当金の増加	預金保険料の減少	株式等損益の減少、与信費用の増加	法人税等の減少

1. 当社グループご紹介

2. 28年3月期　決算概要

3. 各種取り組み

4. 中期経営計画・29年3月期業績予想

5. 株価推移・株主還元

6. 参考資料

利便性向上への取り組み

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

スマホアプリ・LINE　スタート



接客ロボット「Pepper（ペッパー）」の採用



ソフトバンクロボティクス社が提供・開発した人型ロボット「Pepper（ペッパー）」を採用。

ご来店されたお客様へのご挨拶、商品・キャンペーンのご案内、お子さま向けのゲームによるおもてなしを行っています。

ATM・インターネット

- ATMコーナーのご利用時間拡大を順次実施
- パソコン・スマートフォンからのインターネットバンキング利便性向上

資産運用　ご相談窓口

- 北陸銀行「ほくぎんプラザ」（27年10月オープン）
- 北海道銀行「パーソナルラウンジ」

お取引先をご支援する取り組み

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

お取引様同士をつなぐ「商談会」の実施 （記載は主な商談会）

北海道・東北・北陸ビジネスマッチングin東京

出店企業数：36社



28年2月　東京にて北海道・北陸のお取引様と首都圏を中心とするバイヤーとの商談会

北海道の「食」特別商談会in函館

出店企業数：15社



27年8月　函館にて地元水産加工業者様と北海道外のバイヤーとの商談会

ほくほく FOOD EXPO 2015

出店企業数：48社



27年8月　札幌にて食品加工メーカー様と東南アジア各国・中国・ロシアからのバイヤーとの商談会

海外駐在員事務所長報告会



上海・瀋陽・バンコク・ユジノサハリンスク　各駐在員事務所長が現地情勢・経済動向・現地の生の情報などをお取引先へご報告

海外ビジネスセミナー

ロシアビジネスセミナー



ほくりく長城会セミナー



地方創生・地域活性化への取り組み

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

地方自治体との包括連携

滑川市との調印式



北広島市との調印式



地域経済の発展に向けた連携強化に向け、各地方自治体と地方創生等に関する連携協定を締結しております。28年3月末現在、グループ全体で24の自治体と協定を締結しています。

地方創生・6次産業化支援ファンド

北陸銀行

「ほくりく6次産業化ビジネス成長ファンド」

農林漁業者と加工・販売を行う2次・3次産業事業者の連携による6次産業化事業に対して支援

北海道銀行

「ほっかいどう地方創生ファンド」

「食・農」「観光」「環境」など、北海道が優位性を持つ経営資源を活用し成長を目指す企業に対して支援

ほくぎん女性支援セミナー（北陸銀行）



27年12月　女性による新ビジネス事業化支援の一環として開催。女性経営者2名を招き、ブランド戦略やビジネスモデルに関する講演が行われ、熱心な情報交換も行われました。

㈱スノーピークと連携協定（北海道銀行）



28年2月　アウトドア製品製造・販売の㈱スノーピークと連携協定を締結。同社のアウトドア関連のノウハウを各自治体に提案し、アウトドアニーズ喚起による地域活性化に貢献。

「YOSAKOIソーラン祭り」への参加





札幌の初夏を彩る「YOSAKOIソーラン祭り」に市民団体との合同チーム「北海あほんだら会＆ほくほくフィナンシャルグループ」として参加。北陸銀行・北海道銀行行員の力強い演舞でお祭りを盛り上げました。

「エコノミクス甲子園」の開催





高校生がクイズを楽しみながら金融・経済に関する知力を習得し、お金との関り方やライフデザイン等を考えるきっかけとなることを目的に、「エコノミクス甲子園」を開催しました。

ｲｸﾎﾞｽｾﾐﾅｰ開催・ｲｸﾎﾞｽ宣言（北陸銀行）



より働きやすい職場環境の整備の一環として、管理者向けに「イクボスセミナー」を実施し、富山県知事立会いのもと「イクボス宣言」を行いました。

「どうぎんｶｰﾘﾝｸﾞｸﾗｼｯｸ」開催【北海道銀行】





27年7月　どうぎんカーリングスタジアムにて、「北海道銀行フォルティウス」を含めた10チームが出場した国際カーリング大会を開催しました。

1. 当社グループご紹介

2. 28年3月期　決算概要

3. 各種取り組み

4. 中期経営計画・29年3月期業績予想

5. 株価推移・株主還元

6. 参考資料

前中期経営計画の総括

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

（億円）	連結/2行合算 24年度実績	連結/2行合算 27年度実績	連結/2行合算 中計比	北陸銀行 24年度実績	北陸銀行 27年度実績	北陸銀行 中計比	北海道銀行 24年度実績	北海道銀行 27年度実績	北海道銀行 中計比
総預金平残	97,903	106,389	5,289	55,675	61,012	3,312	42,227	45,376	1,976
貸出金平残	72,778	75,457	657	42,168	43,488	388	30,610	31,968	268
コア業務純益	503	520	50	314	266	△ 16	189	253	67
(連結)当期純利益	181	288	103	123	165	45	72	134	54
(連結)自己資本比率	11.88%	10.30%	0.17%	11.78%	9.78%	0.02%	11.23%	10.23%	0.55%
コア業務粗利益ベースOHR	65.37%	63.57%	△3.43%	61.84%	64.57%	65%未満達成	69.98%	62.47%	70%未満達成
不良債権比率	3.11%	2.15%	2%台達成	3.34%	2.18%	2%台達成	2.79%	2.11%	2%台達成

要因内訳（2行合算）

（億円）

	24年度	27年度	中計比	24年度比	ポイント
貸出金利息	1,121	982	△ 58	△ 138	×貸出金利の低下が継続
有価証券利息	214	269	50	54	○有価証券運用の拡大と多様化
投信･保険販売手数料	69	83	△ 2	13	△販売態勢の整備と推進強化
経費	951	909	△ 45	△ 42	○預金保険料･人件費･機械化費用の低下
信用コスト	170	37	△ 92	△ 133	○予想損失率の低下継続

当社グループを取巻く環境

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

【経済】 マイナス金利政策、米国利上げと新興国不安、原油安、消費増税
【規制】 RWA標準的手法見直し、銀行勘定の金利リスク、流動性規制
【人口動態】 プライムエリアの人口減少・高齢化

将来人口推計

(千人)	H27年	H37年	H27年比	うち20歳以上
北海道	5,361	4,960	△7.5%	△5.2%
札幌市	1,933	1,890	△2.2%	0.3%
富山県	1,064	986	△7.3%	△5.1%
石川県	1,153	1,096	△4.9%	△2.6%
福井県	785	731	△6.9%	△4.6%

※人口問題研究所HPより当社作成

比較的保有資産が多い65歳以上では+20.3%

石川県は北陸3県の中で比較的減少が緩やかな予想

中期経営計画の概要

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

名称	**BEST for the Region**
意味	お取引先の役に立つ商品・サービスやコンサルティング機能の提供（**B**eneficial）、グループの業務集約やエリア営業体制の拡充等による効率的な経営体制・営業体制の整備（**E**fficient）、着実な収益の積み上げによる健全で信頼される経営基盤の確保（**S**ound & **T**rustworthy）により地域No.1の金融グループを目指す
目指す姿	**地域No.1の金融サービスの提供を通じてお客さまと地域社会に貢献することで「地方創生」の一翼を担い、地域と共に成長・発展する金融グループ** **ほくほくFG** 北陸銀行　北海道銀行 その他の関連会社 **No.1サービス ソリューション** **信頼と選択** **お客様 地域社会**
位置付け	予想される環境変化のなかで地域経済をバックアップしていくために、ビジネスモデルの変革とグループシナジー効果の更なる追求に取り組む期間 **【予想される環境変化】** 少子高齢化・企業の海外志向・地元経済縮小等 **ビジネスモデルの変革 グループシナジー効果追求**

中期経営計画の概要

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

3つのコンセプト

① 営業力の強化 **お客さまの期待を上回る提案力・サービス力**	• 個人のライフステージとライフスタイルに応じたコンサルティング営業 • 事業性評価と目利き力の向上や国内外のグループネットワークを活かしたソリューション営業 • 先進的かつ最適なサービス提供のためのIT・インフラ投資 • 証券子会社によるビジネス領域の拡大（銀証連携）
② 経営の効率化 **競争を勝ち抜く機能的な組織**	• 営業店業務の軽量化や資源再配置等のBPR加速 • バック事務の統合、システムの統合等によるグループシナジーの追求
③ 経営基盤の強靭化 **地域から信頼される安定した財務基盤**	• 着実な収益の積上げにより、お客様に安心してお取引していただける健全な財務体質の構築 • 公正堅実な企業活動

個人取引～預かり資産

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

新規顧客獲得と資産形成・資産承継ニーズへの対応により預かり資産販売を拡大

■ 新規顧客獲得

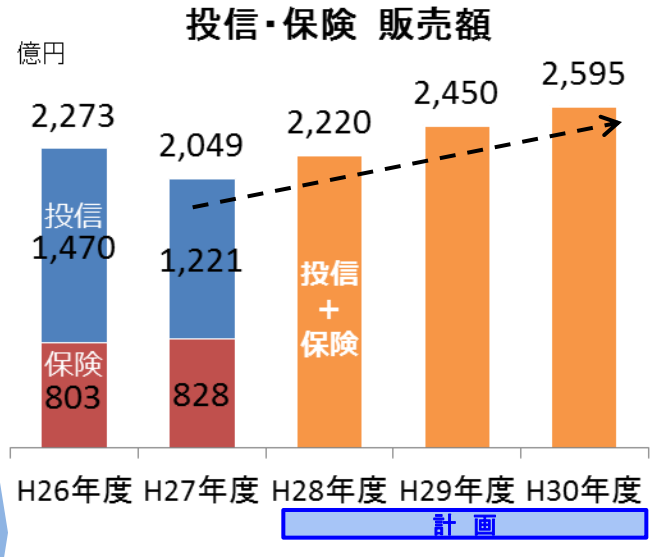
- 給与振込・年金口座等の獲得による預金流入経路の拡大
- ジュニアNISA、生前贈与等の制度活用
- コンビニATM、インターネットバンキング、銀行手続の窓口等とのチャネル連携による利便性の向上

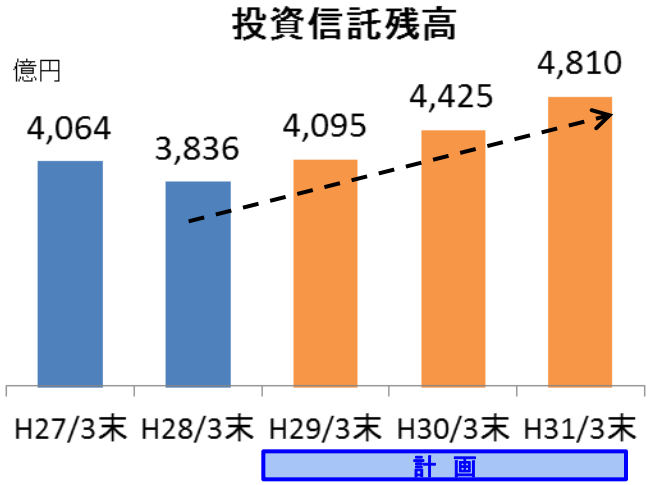
■ 資産形成・資産承継ニーズへの対応

- 取扱商品と購入チャネルの充実
- EBM活用、潜在ニーズへのアプローチ、オーナー取引の拡大
- コンサルティング能力の向上と販売事務フローの効率化による営業力強化

■ 銀証連携（ほくほくTT証券の設立）

- 株式を含むフルラインでの商品提供を実現
- ノウハウ共有による提案力の向上





「ほくほくTT証券」設立による銀証連携

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group



TOKAI TOKYO FINANCIAL HOLDINGS, INC.
東海東京フィナンシャル・ホールディングス

証券子会社　**ほくほくTT証券 株式会社**

広域地域金融機関としての幅広い顧客基盤と総合証券会社としてのノウハウを融合させ、お客様の多様化する金融ニーズに的確にお応えして参ります

開業時期	平成28年度下期中を予定
出資比率	当社60%：東海東京FH40%（予定）
出店地	北陸銀行・北海道銀行の出店地域で検討中

お客様の様々な金融・運用ニーズに対応

個人取引～個人ローン

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

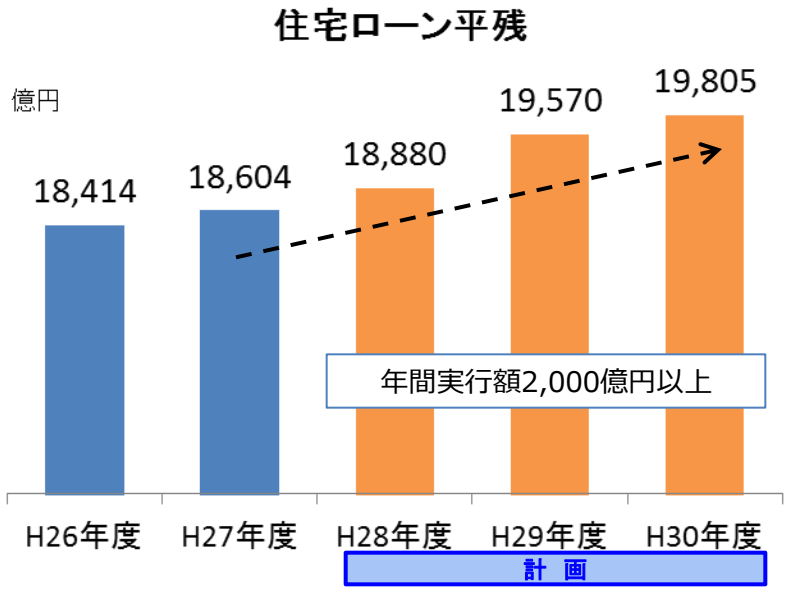
商品性・利便性および認知度を高めることで地域におけるシェアを拡大

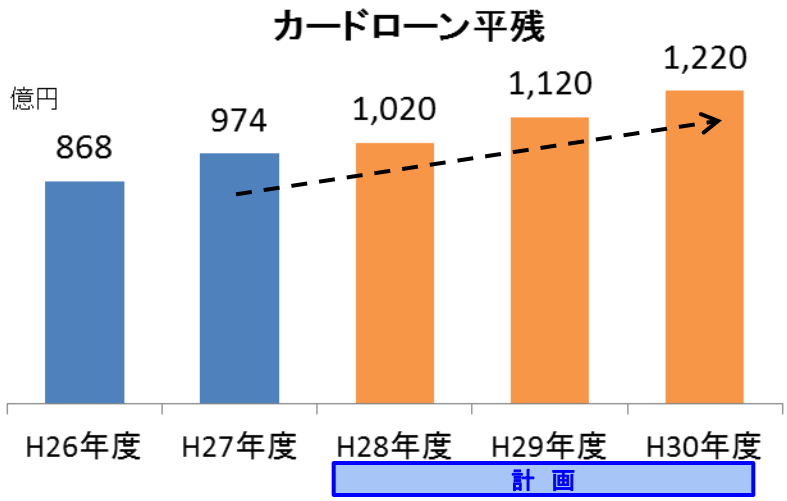
■ 住宅ローン

- 商品ラインアップの拡充
- 中古・リフォームへの取り組み強化
- インターネット申込、機能の充実
- 住宅ローンプラザの充実、ルートセールスの強化

■ 無担保ローン

- 顧客ニーズに応じた商品の開発
- WEB完結型スキーム、スマホやATM等の申込経路の多様化
- WEB広告やSNSを利用したプロモーションの強化
- 蓄積されたデータを活用した与信モデルのブラッシュアップ

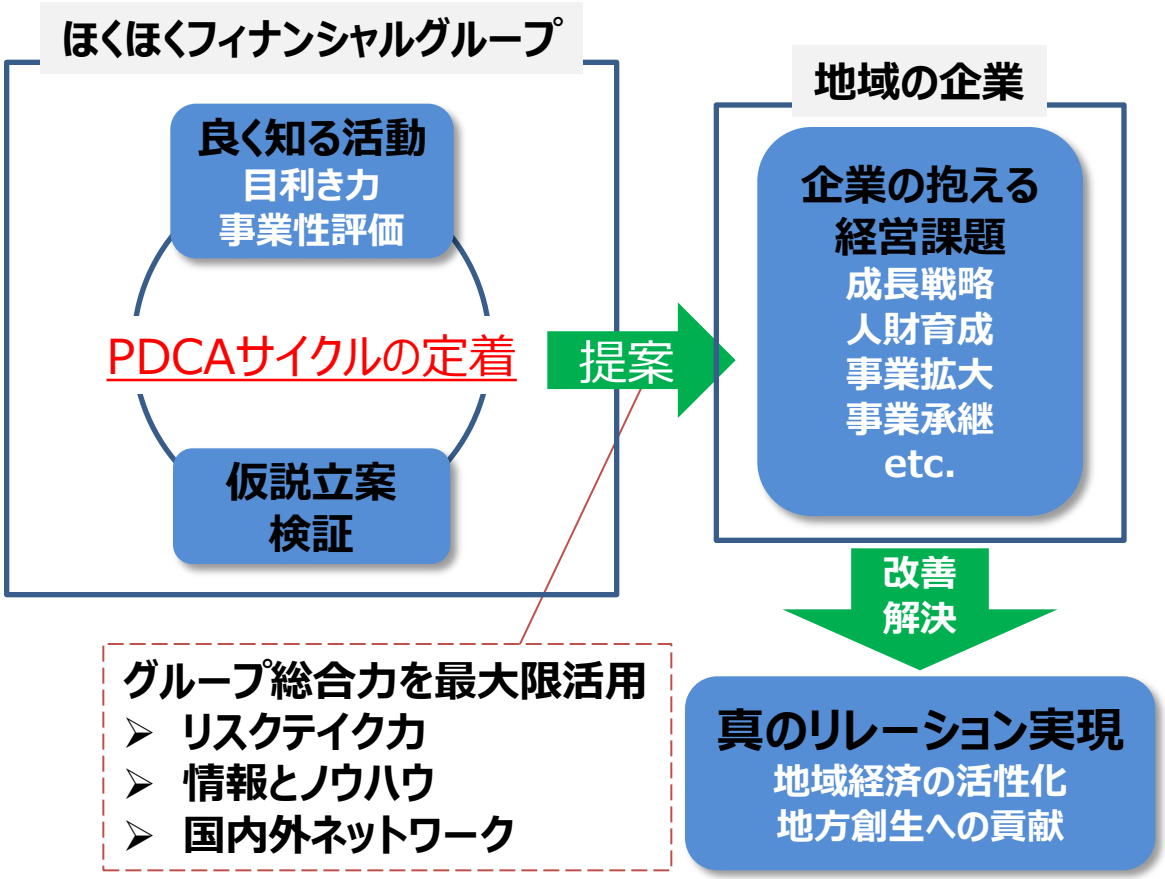


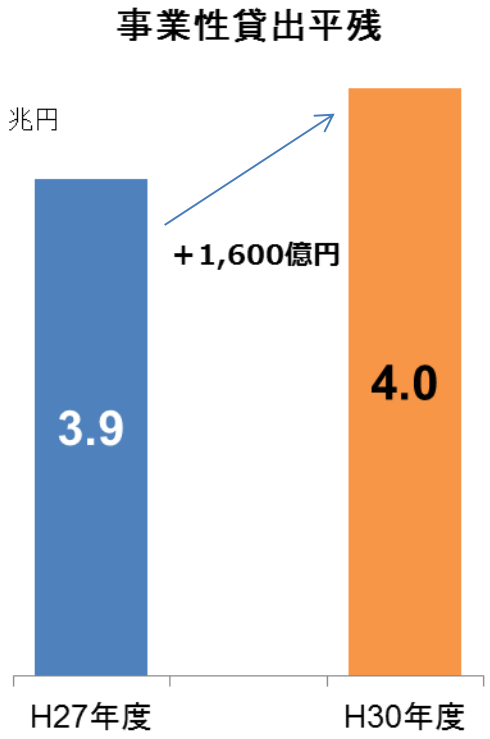


法人取引

地域企業の活性化・地方創生に貢献し、最も頼りになる取引銀行と言われる存在へ

- 『顧客の悩み・真のニーズを把握⇒的確な提案⇒信頼関係の構築』を営業活動プロセスとして定着させる
- 顧客との信頼関係を地域経済の活性化や取引拡大へつなげる

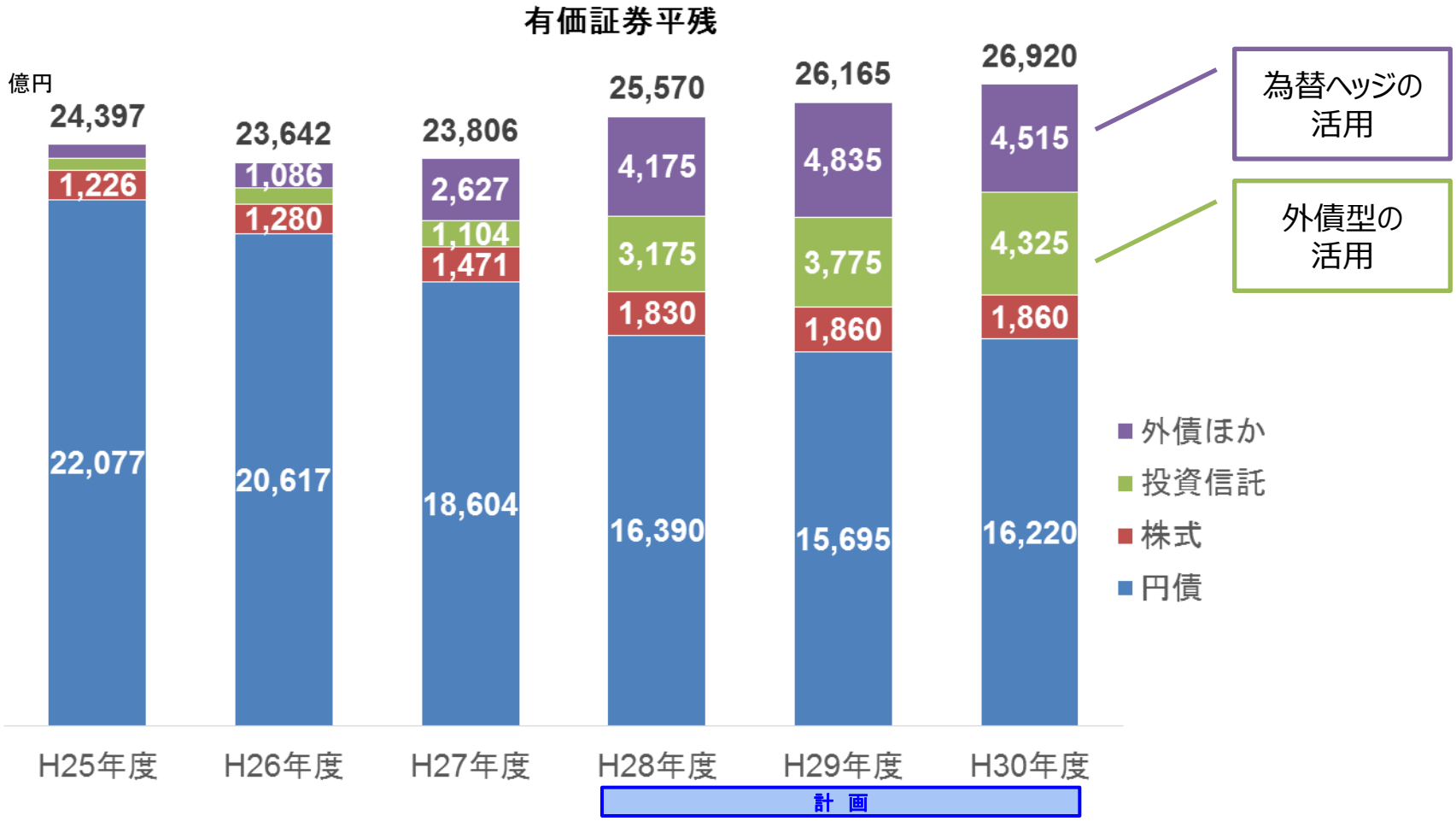




有価証券運用・リスク管理

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

- 市場環境変化に柔軟に対応しつつ、円債以外の分散投資を強化
- 過度なリスクテイクを控え、金利上昇リスクに備えたポートフォリオ運用



効率化・経費

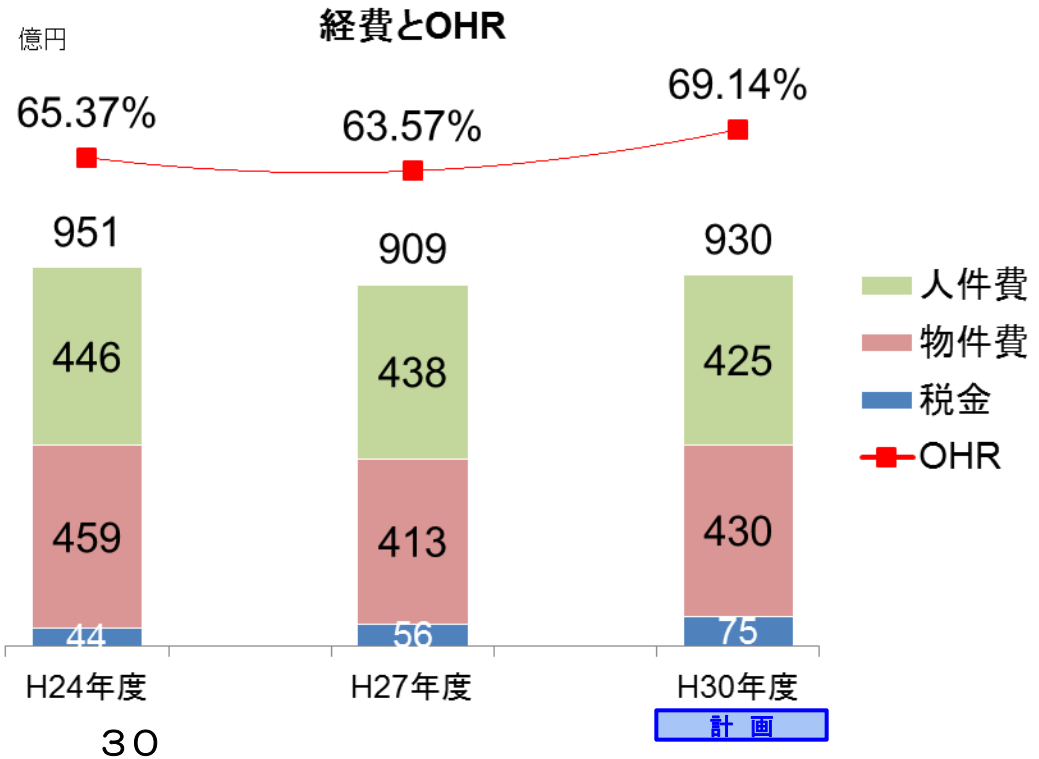
ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

業務軽量化やグループシナジーの追求により効率的な組織と顧客サービスの充実を実現

店内業務	顧客記入伝票の削減、オペレーションの簡素化・スピードアップ、事務センタへの集中化
渉外業務	タブレット端末を活用した提案力の強化、ペーパレス化、本部集中業務の拡大
本部業務	ペーパレス化、IT装備の充実、グループ内での企画・リソースの共有
店舗・ATM	営業形態の見直し、営業スタイル別店舗への移行、グループとしての最適配置

- **接客・提案時間の拡大**
- **フロント人員の増加**
- **地方での店舗・サービスの維持**

顧客満足度と
コスト競争力の向上



資本政策・配当方針

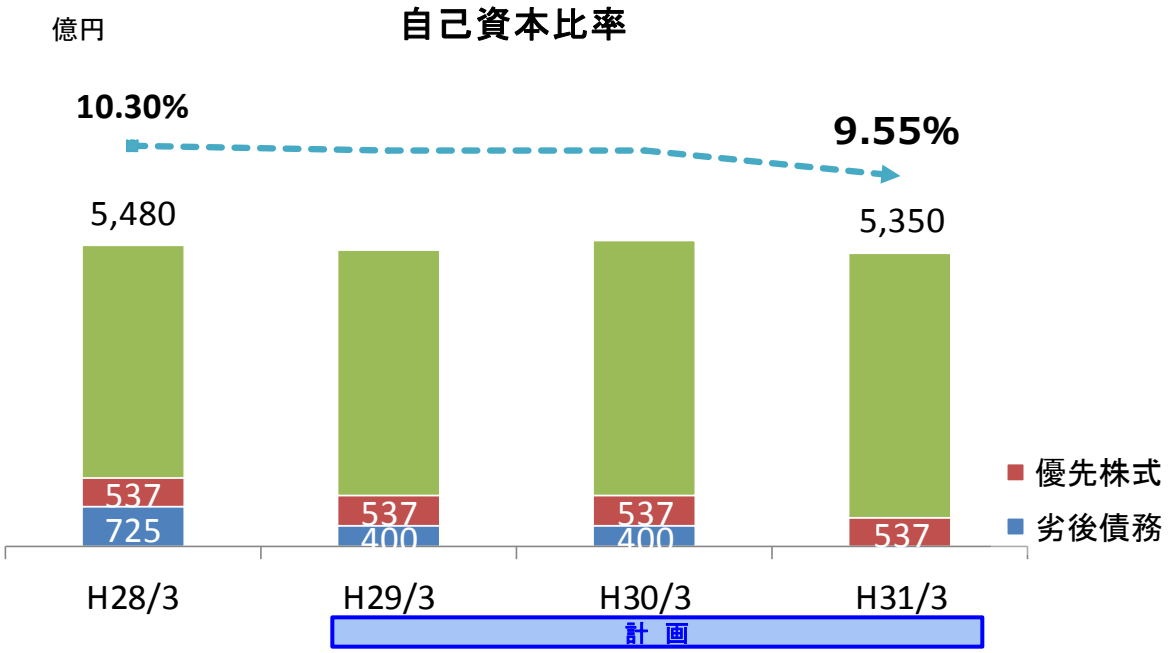
健全な財務体質の構築と安定的な配当の実現

■ 健全な財務体質

- H31/3月までは劣後債務の償還により自己資本比率は低下傾向
- 利益の積上げとリスクアセットのコントロールにより自己資本比率を9.5%程度を維持

■ 配当方針

安定的な配当を継続することを第一とし、将来の利益水準や規制動向を考慮した自己資本比率見通しに配慮して配当を決定する



配当推移

	1株あたり配当
H24年度	3.75円
H25年度	4.00円
H26年度	4.25円
H27年度	4.25円

中期経営計画の目標計数

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

（億円）	連結/2行合算			北陸銀行			北海道銀行		
	27年度 実績	30年度 計画	27年度比	27年度 実績	30年度 計画	27年度比	27年度 実績	30年度 計画	27年度比
預金平残	101,634	105,600	3,965	58,609	61,500	2,891	43,025	44,100	1,074
貸出金平残	75,457	77,600	2,142	43,488	44,400	911	31,968	33,200	1,231
コア業務粗利益	1,430	1,345	△ 85	753	710	△ 43	676	635	△ 41
経費	909	930	20	486	490	3	422	440	17
コア業務純益	520	415	△ 105	266	220	△ 46	253	195	△ 58
信用コスト	37	60	22	△ 11	30	41	48	30	△ 18
(連結)当期純利益	288	230	△ 58	165	140	△ 25	134	100	△ 34
(連結)自己資本比率	10.30%	9.55%	△0.75%	9.78%	8.80%	△0.98%	10.23%	8.99%	△1.24%
コア業務粗利益ベース OHR	63.57%	69.14%	5.57%	64.57%	69.01%	4.44%	62.47%	69.29%	6.82%
(参考)連結ROE	5.3%	3.8%	△1.5%						

２９年３月期　業績予想

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

29年3月期　業績予想（FG連結）

（億円）

	中間期予想	通期予想	前年比
経常収益	900	1,800	△ 125
経常利益	190	350	△ 114
親会社株主に帰属する当期純利益	120	230	△ 58

29年3月期　配当予想

	中間配当	期末配当	年間予想
普通株式	—	4円25銭	4円25銭
第5種優先株式	7円50銭	7円50銭	15円00銭

- 平成28年10月1日を効力発効日として「普通株式10株を1株とする株式併合」を実施致します。株式併合後の平成29年3月期配当金（予定）は、42円50銭となります。

29年3月期　業績予想（北陸銀行・北海道銀行）

（億円）

	【2行合算】			【北陸銀行単体】			【北海道銀行単体】		
	中間期予想	通期予想	前年比	中間期予想	通期予想	前年比	中間期予想	通期予想	前年比
経常収益	830	1,645	△ 144	445	880	△ 53	385	765	△ 90
コア業務粗利益	695	1,360	△ 70	370	720	△ 33	325	640	△ 36
経費（△）	460	920	10	245	490	3	215	430	7
コア業務純益	235	440	△ 80	125	230	△ 36	110	210	△ 43
与信費用（△）	30	60	22	15	30	41	15	30	△ 18
経常利益	195	355	△ 112	110	200	△ 67	85	155	△ 45
当期純利益	135	240	△ 59	75	135	△ 30	60	105	△ 29

1. 当社グループご紹介

2. 28年3月期　決算概要

3. 各種取り組み

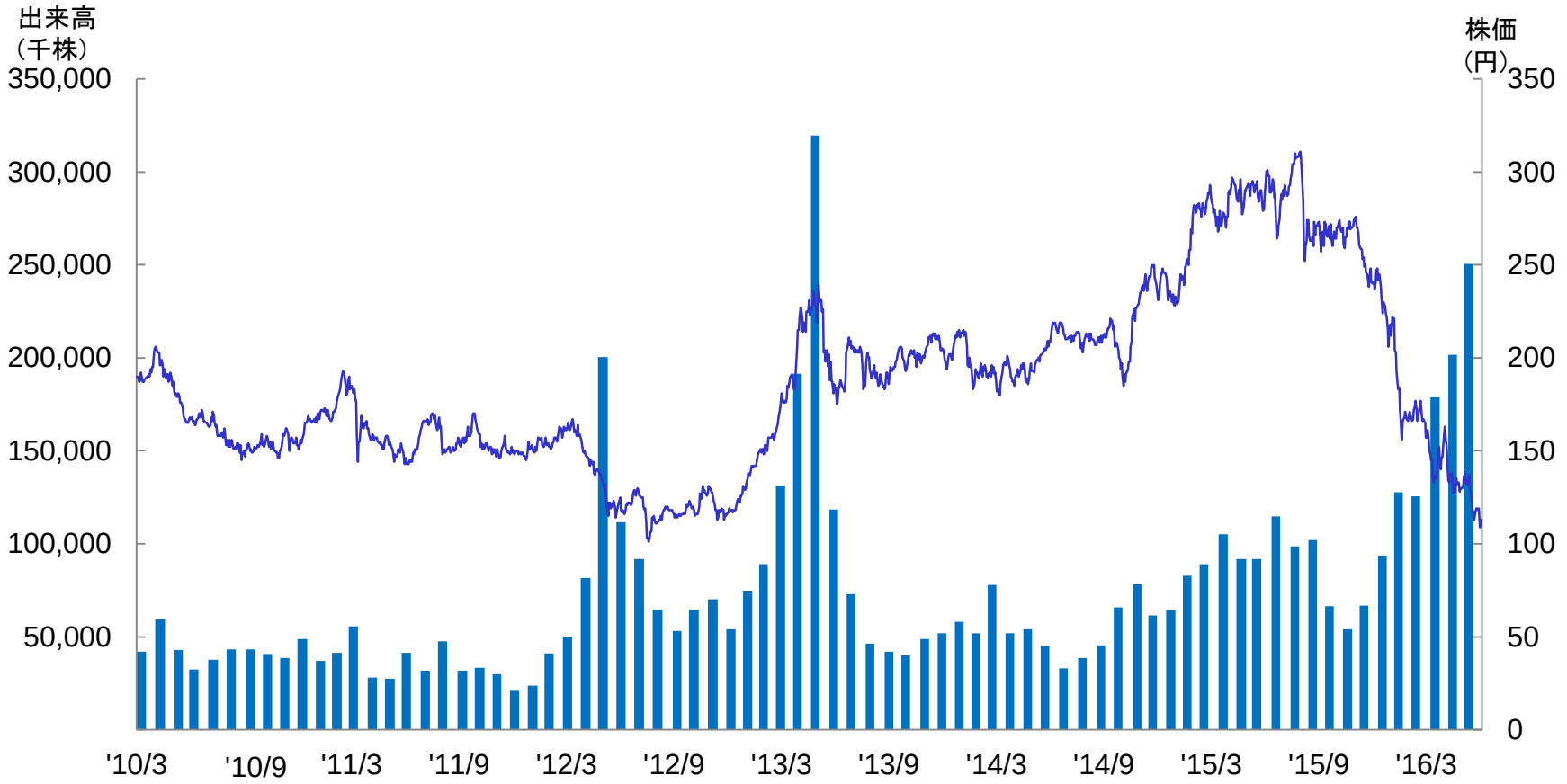
4. 中期経営計画・29年3月期業績予想

5. 株価推移・株主還元

6. 参考資料

ほくほくFG株価の推移

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group



	04.9.01	10.3.31	11.3.31	12.3.30	13.3.29	14.3.31	15.3.31	15.9.30	16.3.31
当社株価	278	205	162	158	190	198	268	273	148
日経平均	11,127.35	11,089.94	9,755.10	10,083.56	12,397.91	14,827.83	19,206.99	17,388.15	16,758.67
TOPIX	1,135.62	978.81	869.38	854.35	1,034.71	1,202.89	1,543.11	1,411.16	1,347.20

ほくほくFG
経営統合

株主還元

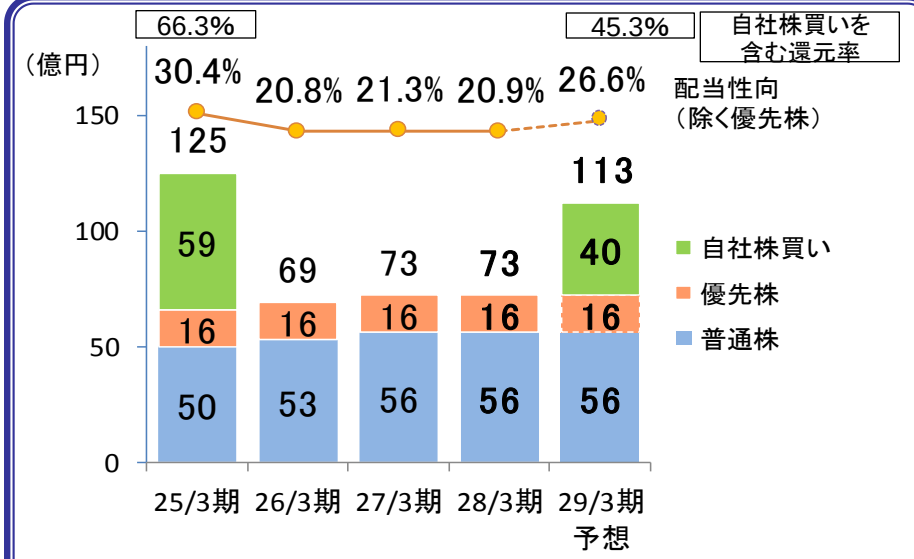
ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

普通株配当額推移（一株当たり）（単位:円）

20/3	21/3	22/3	23/3 ～ 25/3	26/3	27/3	28/3	29/3 (予想)
2.50	3.00	3.50	3.75	4.00	4.25	**4.25**	**4.25**

- 平成28年10月1日を効力発効日として「普通株式10株を1株とする株式併合」を実施致します。株式併合後の平成29年3月期配当金（予定）は、**42円50銭**となります。

株主配当額（還元額）



自己株式取得（自社株買い）の実施 （平成28年6月24日公表）

取得に係る内容	
取得対象株式	当社普通株式
取得する株式総数	30，000，000株（上限）（発行済株式数の2.23%）
取得価格総額	40億円（上限）
取得期間	平成28年7月1日～8月19日

1. 当社グループご紹介

2. 28年3月期　決算概要

3. 各種取り組み

4. 中期経営計画・29年3月期業績予想

5. 株価推移・株主還元

6. 参考資料

主要経営指標の推移　（ほくほくＦＧ）

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

（単位：億円）

（ほくほくFG連結）	24/3期 通期	24/9期 半期	25/3期 通期	25/9期 半期	26/3期 通期	26/9期 半期	27/3期 通期	27/3期 半期	28/3期 通期
経常収益	2,079	1,057	1,991	952	1,909	964	1,939	991	1,925
経常利益	388	89	293	235	494	218	481	261	464
当期純利益	141	61	181	123	273	138	282	166	288
自己資本比率	11.72%	11.90%	11.88%	12.04%	12.31%	11.38%	11.13%	10.89%	10.30%
（2行合算）									
コア業務粗利益	1,563	735	1,455	715	1,422	720	1,448	729	1,430
経費	1,006	485	951	478	940	477	936	453	909
コア業務純益	557	250	503	237	482	243	512	275	520
有価証券等関係損益	▲ 14	▲ 35	4	10	22	32	69	18	2
与信費用	104	104	170	0	▲ 13	30	60	16	37
経常利益	405	94	300	233	485	223	471	268	467
当期（中間）純利益	166	70	195	126	275	148	282	178	299
ROA（コア業務純益ベース）	0.53%	0.47%	0.47%	0.43%	0.44%	0.43%	0.45%	0.48%	0.45%
OHR（コア業務粗利益ベース）	64.37%	65.98%	65.37%	66.87%	66.08%	66.17%	64.64%	62.18%	63.57%
貸出金（末残）	72,870	73,138	74,020	73,696	73,363	74,801	75,617	75,192	75,996
預金（末残）含む譲渡性預金	97,008	97,876	100,081	100,894	101,720	104,890	106,513	106,357	105,026
有価証券（末残）	24,718	23,926	24,978	25,404	24,814	24,338	24,814	24,231	23,958
金融再生法開示債権	2,368	2,521	2,367	2,161	2,013	1,969	1,892	1,763	1,686
開示債権比率	3.17%	3.36%	3.11%	2.85%	2.67%	2.56%	2.43%	2.28%	2.15%

主要経営指標の推移　（北陸銀行）

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

（単位：億円）

	24/3期 通期	24/9期 半期	25/3期 通期	25/9期 半期	26/3期 通期	26/9期 半期	27/3期 通期	27/9期 半期	28/3期 通期
経常収益	1,054	562	1,030	485	977	480	940	463	933
コア業務粗利益	885	424	823	389	770	381	765	378	753
経費	542	259	509	258	505	259	504	243	486
コア業務純益	343	164	314	130	264	122	260	134	266
有価証券等関係損益	▲ 11	▲ 36	▲ 12	6	16	27	36	10	4
与信費用	44	95	93	▲ 9	▲ 42	8	17	8	▲ 11
経常利益	274	23	183	139	304	125	245	129	267
当期（中間）純利益	114	19	123	72	178	78	146	82	165
自己資本比率	11.85%	11.89%	11.78%	11.95%	12.40%	10.98%	10.61%	10.31%	9.78%
ROA（コア業務純益ベース）	0.57%	0.55%	0.52%	0.42%	0.42%	0.38%	0.40%	0.40%	0.40%
OHR（コア業務粗利益ベース）	61.25%	61.17%	61.84%	66.39%	65.65%	67.98%	65.94%	64.31%	64.57%
貸出金（末残）	42,339	42,455	43,327	42,712	42,276	42,927	43,653	43,329	43,834
預金（末残）含む譲渡性預金	55,451	55,412	57,262	57,968	59,090	59,059	60,760	60,067	61,176
有価証券（末残）	13,154	11,782	12,696	12,961	12,383	12,191	12,754	12,721	13,439
金融再生法開示債権	1,535	1,681	1,484	1,342	1,203	1,141	1,097	1,029	977
開示債権比率	3.53%	3.86%	3.34%	3.06%	2.78%	2.60%	2.46%	2.33%	2.18%

主要経営指標の推移　（北海道銀行）

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

（単位：億円）

	24/3期 通期	24/9期 半期	25/3期 通期	25/9期 半期	26/3期 通期	26/9期 半期	27/3期 通期	27/9期 半期	28/3期 通期
経常収益	875	423	816	402	802	416	854	454	855
コア業務粗利益	678	310	631	326	652	339	683	350	676
経費	464	225	442	219	434	217	431	210	422
コア業務純益	214	85	189	106	217	121	251	140	253
有価証券等関係損益	▲ 2	1	17	3	6	5	32	8	▲ 1
与信費用	59	8	76	9	28	21	42	7	48
経常利益	131	71	116	94	180	98	226	139	200
当期（中間）純利益	52	50	72	54	96	70	135	96	134
自己資本比率	10.80%	11.05%	11.23%	11.08%	10.76%	10.79%	10.75%	10.45%	10.23%
ROA（コア業務純益ベース）	0.47%	0.37%	0.41%	0.45%	0.47%	0.51%	0.53%	0.58%	0.52%
OHR（コア業務粗利益ベース）	68.44%	72.57%	69.98%	67.44%	66.60%	64.14%	63.18%	59.88%	62.47%
貸出金（末残）	30,530	30,683	30,693	30,984	31,086	31,874	31,964	31,863	32,161
預金（末残）含む譲渡性預金	41,557	42,464	42,819	42,926	42,629	45,830	45,753	46,289	43,849
有価証券（末残）	11,564	12,144	12,282	12,443	12,431	12,146	12,059	11,509	10,519
金融再生法開示債権	833	840	882	819	810	828	796	733	709
開示債権比率	2.66%	2.66%	2.79%	2.56%	2.52%	2.50%	2.40%	2.21%	2.11%

北陸・北海道地区の特徴

ほくほくフィナンシャルグループ
Hokuhoku Financial Group

人口・面積

総務省統計局「統計でみる都道府県のすがた2016」(2014年度実績)

	富山	石川	福井	北陸三県計	北海道	プライムエリア
人口 (順位)	107万人 (37位)	116万人 (34位)	79万人 (43位)	302万人	540万人 (8位)	**842万人**
面積(㎢) (順位)	4,248 (33位)	4,186 (35位)	4,190 (34位)	―	83,424 (1位)	―

事業所数

(千)

北海道	242
北陸	161
富山	54
石川	63
福井	43

総務省統計局「平成26年経済センサス-基礎調査(確報)」

県内総生産

内閣府「平成24年度県民経済計算」

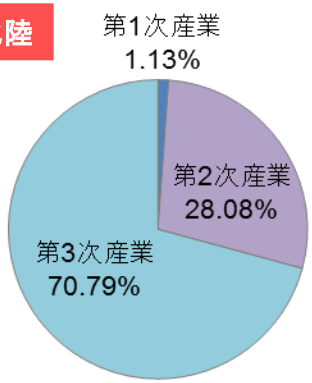
(億円)

	富山	石川	福井	北陸三県	北海道	プライムエリア
県内総生産 (割合) (順位)	43,839 (0.88%) (31位)	44,264 (0.88%) (29位)	30,898 (0.62%) (42位)	119,003 (2.38%)	181,241 (3.62%) (8位)	**300,244** **(6.00%)**

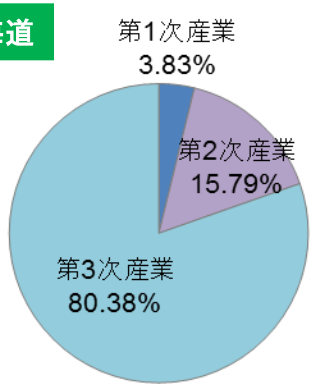
産業別構成

内閣府「平成24年度県民経済計算」

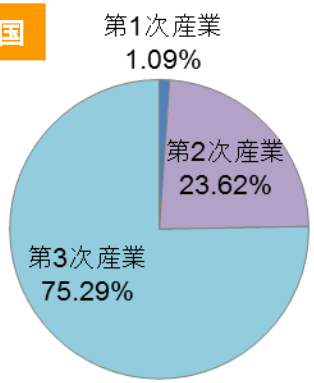
北陸



北海道



全国



経済状況

（2016年4月）	月例経済報告（内閣府）	地域経済報告（日本銀行）	
	全国	北陸	北海道
景気	緩やかな回復基調が続いている	回復を続けている	緩やかに回復している
公共投資	緩やかに減少している	減少傾向にある	減少している
設備投資	持ち直しの動きがみられる	着実に増加している	高水準で維持している
個人消費	おおむね横ばいとなっている	持ち直している	回復している
住宅建設	おおむね横ばいとなっている	持ち直している	緩やかに持ち直している
生産	横ばいとなっている	高水準で推移している	緩やかに増加している
雇用	改善している	着実に改善している	着実に改善している
消費者物価	緩やかに上昇している	前年比0%程度となっている	前年を下回った
企業倒産	おおむね横ばいとなっている	落ち着いた動きとなっている	落ち着いた動き

※ 内閣府「月例経済報告」、日本銀行「地域経済報告」より

本件に係る照会先

株式会社　ほくほくフィナンシャルグループ
企画グループ（担当：宮崎）
TEL：076-423-7331
FAX：076-423-9545
E-MAIL：honsha1@hokuhoku-fg.co.jp
http://www.hokuhoku-fg.co.jp/

事前に株式会社ほくほくフィナンシャルグループの許可を書面で得ることなく、本資料を転写・複製し、又は第三者に配布することを禁止いたします。本資料は、情報の提供のみを目的として作成されたものであり、特定の証券の売買を勧誘するものではありません。本資料に記載された事項の全部または一部は、予告なく修正・変更されることがあります。本資料には、将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、経営環境等の変化等により、実際の数値と異なる可能性があります。